

評価シート

耐震	部位	壁	分類	閉鎖型	有効期限	2029年3月31日	評価番号	A-244
評価技術名称					連絡先			
部分開口 構造用合板補強工法 大壁「1間 上下あき」薄棧あり					https://www.aichi-gensai.jp 愛知建築地震災害軽減システム研究協議会 実験実施機関 :名古屋工業大学			
概要	技術概要							
	構造用合板を横向きで用いて、横架材及び土台と面材が接合せず、床天井間のみを構造用合板で補強する工法。							
	技術の特徴						コスト	
要	・ 天井・床を解体することなく補強が可能 ・ 1間の間に柱がない場合に有効 ・ 一般流通品なので取り扱いが容易						サンプル構面	20,139 円/kN
							設計見積り例	—
適用範囲					写真・図			
構法		木造在来軸組工法						
規模		3階建て以下						
基礎、地盤		特になし						
適用部位		内外壁						
耐震性能								
評価仕様: 大壁直貼仕様								
壁基準耐力		壁基準剛性						
2.6kN/m		365kN/rad/m						
A-111からの低減係数 $\alpha = 0.5$								
壁基準耐力 $5.2 \times 0.5 = 2.6$								
設計方法								
① 柱接合部による低減 : 取付部分が健全であること								
② 劣化による低減 : 取付部分が健全であること								
施工者指定								
特になし								
主要構成部材の仕様								
仕様	構造用合板	大壁、厚 12mm、横使い、各高さ 400mm 以上						
		釘 N50、CN50、@100mm 以下、四周打ち、端あき 15mm 以上 20mm 以下						
	間柱	なし						
	継手受材	奥行 30×見付 90mm 以上、釘 柱に対し 2-N75 斜め打ち						
	上下受材	奥行 30×見付 90mm 以上、釘 柱に対し 2-N75 斜め打ち						
	四方受材	なし						
	下地材	なし						
	アルミアングル	なし						
かさ上げ材	なし							
その他								
2024年 旧 A-244 は A-241 に改番								